



阿久根市内唯一の高校「鶴翔高校」
そこで過ごす生徒たちの活躍を紹介します

1年生全員にサプライズ!

阿 久根市在住の匿名の方から1年生 89人全員に、英語辞書を寄贈していただきました。

その方は「阿久根の将来を担う人材になって欲しい」との思いで、毎年中学校への支援を行ってこられました。高校への支援は初めてのこのようです。毎回の英語の授業において辞書は欠かせないものであり、現在生徒たちは調べた単語に印をつけながら大切に使用しています。総合学科1年の仙野未来さん(川内北中出身)は「辞書を大事に使って学力を伸ばし、阿久根に貢献できるよう頑張りたい」と意気込みを語ってくれました。地域に根ざす学校として、期待に応えられるよう生徒・職員一同頑張っています。本当にありがとうございました。



さまざまな体験・講座が行われました

① 田植え体験

1 年生を対象とした田植え体験を6月18日(木)に実施しました。田植え体験を通して農業についての興味や関心を高めさせることを目的とし、毎年実施しています。素足で水田に入るといった体験が初めての生徒が多く、自然に触れることの楽しさや大変さを感じることができました。総合学科1年の濱崎理奈さん(三笠中出身)は「苗の植え方や植えた後に足で土をならすなど、初めて知ったことがとても多かったです。農家の方々が毎年していると思うととても大変なことなのだと思います。食を支えてくれる人々に感謝の気持ちを持つべきだと思います」と、感想を述べてくれました。



② 出前講座

鹿 児島大学、鹿児島国際大学、第一工業大学、鹿児島純心女子短期大学から先生方をお招きし、3年生を対象に大学短大等出張講義が6月18日(木)に開催されました。

各講座では、化学分野、機械航空機分野、言語・音楽分野、デザイン表現分野のさまざまな実習や実験、制作活動などを体験しました。今回の出張講義を通して大学で学ぶ意義を強く感じることができました。



「地域との協働による高等学校教育改革推進事業」コンソーシアム会議

地 域との協働による高等学校教育改革推進事業」のコンソーシアム委員による会議が6月12日(金)、本校で行われました。

これは、地域と高校が協働で「あくねの資源を生かした人づくり・まちづくりプロジェクト」を達成させるために、高校と地域が一体となり、地域愛を育み、地域で活躍できる人材を育成していく取り組みです。高校生が地域課題の解決を効果的に行うことを目的とし、学識経験者をはじめ阿久根・出水地域で事業を展開している企業や行政の方など9人の委員が参加されました。事業についての説明や、これまでに本校で取り組んでいるジビエの活用とウニの液肥に関する研究について生徒から発表が行われ、たくさんの助言をいただきました。これからの活躍に期待しています。



挑戦・感動
そして 愛
Since 2005



鶴翔高校
公式ホームページ

